

委員会要旨

日 時	令和6年3月19日(火) 午後1時30分から午後3時30分まで
場 所	軽井沢町中央公民館 大講堂
件 名	第5回軽井沢町庁舎改築周辺整備事業推進委員会
出席者 委 員	池田靖史委員、市村強志委員、西垣忍委員、小林久史委員、大町哲也委員、千葉篤史委員、荒井美和委員、外川善行委員、小林里恵委員、篠原幸雄委員、島田茂夫委員、福原未来委員、柴崎雅寿委員、野村有里委員、船曳鴻紅委員、堀池玲子委員、堀内勉委員、山崎元委員、上田公三委員、大工原亮子委員、佐藤一郎委員 町：土屋町長、小池副町長 事務局：中山総合政策課長、土赤まちづくり推進室長、佐藤 欠席：本城慎之介委員、島崎直也委員、小林美智子委員
1. 開 会	
2. 議 題	
(1) 基本方針の見直しについての議論【資料1】	
ア 適正な事業費の検討	町長より、適正な事業費についての1つの考え方を説明後、委員と対話
【主な質疑】	
・当初主な財源が借金に頼るということで、将来的に財務リスクが高まるというご懸念を示されていたが、今の考えは。	
⇒町の財政を内部から確認・整理したところ、財務的に起債しても問題がない考えに認識が変わった。また、財政調整基金に手を付ける予定もなく、世代間負担の公平性の観点からも起債しても問題はないという認識でいる。	
・庁舎の集約化・分散化について、リスク分散の考えも含めて今の考えは。	
⇒分散化という方針で検討しているが、現在の課が分かれたままで良いという認識ではなく、業務の効率化や利便性の向上のため、DX等の進展により、集約化する部分もあれば、分散のままでも機能を果たせる部分もあるというものを今後検討していく。	
イ 今後の進め方【資料0】	
ワークショップ等に関心・知識の高い委員4名と町と設計者で自然発生したチームで住民との対話の場を検討し、委員会に提案することを正式に認めてもらいたいという提案があった。	
→委員会として、ワークショップの設計をWGに依頼することとした。	
【主な議論】	
・ワークショップ以外に対話集会ということもお考えいただきたい	
⇒ワークショップという言葉を便宜的に使ったが、まさに対話を実施していきたい。また、アウトプットもしっかり可視化していきたい。	
・パブコメみたいな短期的なものだけでなく、文字(文章)として継続して意見を集めるような仕組みも入れてもらいたい。	

ウ 庁舎と公民館機能拡充施設

●庁舎について

- ・見直しに書いてある「分散化」については、従来のように保健福祉課の職員は木もれ陽の里を使うといった意図ではなく、例えば夏場の渋滞の中で役場に来なくてはならなかった手続きが木もれ陽の里でできるようになるなど、来庁者の利便性の向上を図れる仕組み作りをしていきたい。それが結果的にリスク分散や面積・コスト削減につながる。
- ・DXについては専門家を招聘し、推進していく。
- ・基本方針段階で、事業用地として民有地も含めた計画で進めていく。
- ・これまでの各論点での議論の結果が最終的には基本方針の再作成に繋がる。

●公民館について

- ・庁舎と比べてこれまでの検討の熟度は低く、これからWS等を経て検討を進めていく。
- ・社会教育法における公民館の位置付けや現状、市民交流センターに移行した場合などについて説明

【主な議論】

- ・事業用地に存在するその他の施設について、全て取り壊す予定とあるが、壊す理由なども説明して欲しい。また、事業とは少し外れるが軽井沢病院との関連性も説明してほしい。

⇒次回委員会でお示しする。

- ・庁舎と公民館の建設時期はどうなるのか。先に庁舎を進めていくこともできるのか。

⇒工期やコスト面、建設中の利便性の観点から一体整備に合理性があれば行すが、現時点では決まっていない。整備手法はこれから検討する。

- ・社会教育法で公民館ができること、例えば営利目的ができないなどの縛りもあり、今後の施設の在り方について、知識として、法の建付けも持っていた方が良い。
- ・アイデア出しとして、小さなスーパーや映画館のようなものがあったも良い。
- ・コストを下げると短期的には町民感情が良くなるが、時間が経って、内容が悪い庁舎であると町民感情が下がり、その感情が強く残ってしまう。
- ・庁舎と公民館の距離感は現在でも遠いと感じるので、繋がりを持った施設になれば良い。
- ・役場が会議を行う際に、公民館施設を利用するということが、良いのか、悪いのかも今後の検討課題。(効率的に施設を使えているともいえるし、利用したいのに利用できないという面もある。)

(2) その他

- ・次回の委員会 4/17 (水) 15:00 から中央公民館 講義室
- ・次々回の委員会 5/15 (水) 13:30 から中央公民館 大講堂

3. 閉会

以上